

今程の3名の意見発表は、3学期の抱負をしっかりと述べていて、大変良かったです。

さて、3学期が始まりました。この学期は、授業日数が1月は15日、2月が18日、3月が1、2年生は17日、3年生は11日で、合計すると、1、2年生は50日、3年生が44日となり、2学期の81日より30日以上短い学期となります。

1年生にとっては、今月の28日に小学6年生対象の入学説明会が行われるように、先輩としての自覚と態度を一層伸ばす時期です。2年生は、学習と進路に力を入れつつ、生徒会活動として予餞会の企画・運営を中心となって進めるなど、最終学年となる3年生に向けての地盤を固める頃と言えます。そして、3年生。学習に励み、進む道を決め、卒業の日を迎えることとなります。でも、後輩や母校により良き伝統を残していこうとする気持ちを見失わないで欲しいと思います。

さて、今学期、私が期待することをお話します。それは「学校や家庭での生活、地域との交流において、道徳性を一層高めて欲しい」ということです。

インターネットやSNSの著しい普及、テレビなどのメディアの発達は、数多くの情報を私たちに与えてくれ、便利さを感じます。しかし反面、氾濫している情報のどれが正しいのか誤っているのかを、適時・適切に見極める力が求められてもいます。その際に私は、より良き判断を下す基準の軸となるのは、道徳性だと信じています。

バス内に足の不自由なお年寄りが乗車されたら、優先席のステッカーを探すこともいいのですが、自然にすぐ『つらそうだな』との思いがはたらき、近くに空いた席を見つけてあげたり譲ったりする。周りを不快な思いにすることを大きな声で話す仲間がいても、同調することなく、この本質をしっかりとつかんで流されない。つまり、きまりやルールや法律だからと単純に決めてしまうのではなく、自分の下す判断や言動は、幸せや喜びを少しでも多く届けられるものなのか、という視点から物事を見つめてもらいたいのです。こうした道徳性を高めるための18の心がけを、校長室前に手書きで掲示しています。

「誰に対しても平等に接する」「時間を無駄にしない」「自分の感情を上手くコントロールする」「常に前向きでいる」「人の悪口を言わない」「努力することを楽しむ」「人を見る目を養う」「自我を通さない」「綺麗な言葉遣いをする」「いつも笑顔でいる」「人に親切にしても見返りを求めない」「物事を客観的に見て考える」「相手の幸せを心から願う」「正しくないことにはきっぱりと『NO』を突きつける」「後悔や嫉妬という感情を持たない」「お金に振り回されない」「人の話をよく聞き、たくさんのことを学ぶ」「目標を高く持つ」

コロナ禍となり、心のつながりが薄れやすい昨今ですが、徳を積むことは、学力の向上や生きる力を伸ばすことに繋がるとともに、日本人が誇りとして来たことで決して忘れてはな

らないものでもあります。いじめとは無縁で、安心かつ安全に過ごせる、県内1 道徳性が高い学校を一緒に創って行きましょう。

結びに、学校生活では楽しいこともあれば、嫌なこと・つらいことも起こり得ます。こうした困難や試練を乗り越えるには適切なる助言や知恵が必要ですが、この際に頼りとなる存在の一番手は、先生を始めとする井波中学校で働いている方々全てだと思います。さまざまな人を敬う気持ち・信頼する心を伸ばしながら、人間力を養ってください。

今学期が、一年間のまとめ、そして三年生にとっては義務教育の最終にふさわしい学期となることを願って、式辞とします。